

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公表番号】特表2002-540340(P2002-540340A)

【公表日】平成14年11月26日(2002.11.26)

【出願番号】特願2000-606890(P2000-606890)

【国際特許分類】

F 02 K	9/50	(2006.01)
F 02 K	9/48	(2006.01)
F 02 K	9/52	(2006.01)
F 02 K	9/56	(2006.01)
F 02 K	9/60	(2006.01)
F 02 K	9/62	(2006.01)
F 02 K	9/64	(2006.01)
F 02 K	9/97	(2006.01)

【F I】

F 02 K	9/50
F 02 K	9/48
F 02 K	9/52
F 02 K	9/56
F 02 K	9/60
F 02 K	9/62
F 02 K	9/64
F 02 K	9/97

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

予備燃焼器34内の、シャフト44、特に第2の中空シャフト部48に結合された第1の回転噴射器76は、注入口80および予備燃焼器34と流通している少なくとも1つの第1のロータリーオリフィス78を具備する。注入口80は、第1の中空シャフト部46の内部82および第2の中空シャフト部48の内部62内の関連する流路(fluid path)を通して液体酸素18を供給する酸素スクロール26と流通する。第1のロータリーオリフィス78はシャフト44とともに、シャフト44の軸16を中心に回転する。第1の回転噴射器76は、注入口90および出口92を有する第1の流路88を含む少なくとも1つの第1の回転圧力トラップ86をさらに備え、かかる注入口90および出口92は第1の流路88にわたってその長さ方向に流通している。この第1の流路88は回転軸16を中心に回転されると、第1の流路88内のどの点における遠心加速度も、その注入口90または出口92の何れにおける遠心加速度を上回るよう構成される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

液体水素の主要の流れは、回転環状ダクト124から、予燃焼器34内のシャフト44に、特に第2の中空シャフト部48に結合された第2のロータリー噴射装置142へ外向きに供給される。第2のロータリー噴射装置142は、環状ダクト124および予燃焼室34と流通している少なくとも1つの第2のロータリーオリフィス144を備える。第2のロータリーオリフィス144は、その回転軸16を中心にシャフト44とともに回転する。第2のロータリー噴射装置142はさらに、少なくとも1つの第2の回転圧力トラップ146を備えており、この第2の回転圧力トラップ146は、第2の流路の長さ方向に沿って第2の流路で流通している注入口150および排出口152を有する第2の流路148を備える。第2の流路148は、回転軸16を中心に回転した際に、第2の流路148内のどの地点における遠心加速度も、注入口150または排出口152の何れにおける遠心加速度よりも大きくなるように適合される。図2a、図3、および図6を参照すると、各第2の回転圧力トラップ146の各排出口152は、環状マニホールド154と流通しており、この環状マニホールド154は、複数の放射状ペーン158によって複数の放射状室160に分割された環状室156と流通しており、その放射状室160の少なくともいくつかは、それぞれ第2のロータリーオリフィス144へ解放される。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0039

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0039】

第2の中空シャフト部48はさらに、それぞれ第2の中空シャフト部48の第1の端168および第2の端170に近接している閉端164および第2の端166を有するシャフト・ライナ162を備えており、シャフト・ライナ162の閉端164は、第3の回転圧力トラップ174の境界部172を形成するように成形されている。第3の回転圧力トラップ174は、第3の流路の長さ方向に沿って第3の流路で流通している注入口178および排出口180を有する第3の流路176を備える。第3の流路176は境界部172によって、回転軸16を中心に回転した際に、第3の流路176内のどの地点における遠心加速度も、注入口178または排出口180のいずれにおける遠心加速度よりも大きくなるように適合されている。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0042

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0042】

本明細書に参照により援用される、米国特許第4,870,825号の技術によれば、回転圧力トラップは注入口および排出口を有する流路を備え、流路は、回転圧力トラップが回転した際に、流路内のどの点における遠心加速度も、注入口または排出口の何れの地点における遠心加速度よりも大きくなるように適合されている。したがって、流路が、かかる液体のような比較的高い濃度の媒体で満たされる場合、注入口および排出口の放射レベルは、その間に圧力差がない場合と等しく、そうでない場合には、圧力差および回転速度の大きさに依存している量だけ等しくないであろう。したがって、排出口で比較的高い圧力領域に供給する回転圧力トラップの注入口へ比較的低い圧力の液体供給がある場合には、回転圧力トラップは、蒸気がそこを通って逆流することを防止することができる。